

東京都立 南平 高等学校 全日制 課程 普通 科
令和8年度「総合的な探究の時間」の年間指導計画

(1 学年)

1 単位時間の時間 (50) 分

学期	月	指 導 項 目	指 導 内 容	評 価 計 画	配当時間
一学期	7月	・「私はどのような学びに興味を感じるのか？」①-1	・学生図鑑「MISSION チャレンジ」を利用して自分がどのような学びに興味を感じるのか考える。	・自分がどのような学びに興味を感じるのか考えている。ワークシートによる評価。	2
夏季休業期間		・「私はどのような学びに興味を感じるのか？」①-2	・学生図鑑「MISSION チャレンジ」を利用して、実際に大学を訪問して、自分がどのような学びに興味を感じるのか体験的に考えを深める。	・実際に大学を訪問して、自分がどのような学びに興味を感じるのか考えを深めている。ワークシートによる評価。	4
二学期	9月	・「私はどのような学びに興味を感じるのか？」②	・「逆引き大学辞典」を利用して、大学における研究領域を社会の様々な課題とつなげて考え、自分がどのような領域の学びに興味を感じるのか考えを深める。	・大学における研究領域を社会の様々な課題とつなげて、自分がどのような領域の学びに興味を感じるのか考えを深めている。ワークシートによる評価。	1
	12月	・「私は地域と連携しながら防災活動にどのように関わるのか？①」	・日野市消防署による防災訓練、日野市社会福祉協議会による防災ワークショップによる体験的な学びを通じて、自分自身が防災活動にどうかかわるのかを考える。	・地域と連携しながら自分が防災活動にどのように関わるのか考えている。振り返りシートによる評価。	6
		・「普通科の高校生がなぜ探究的な学びをするのか？」 ・振り返り	・有識者による講演を聴いて、生徒一人一人が、なぜ普通科高校生が探究的な学びを行うのかについて自分なりに考える。 ・哲学対話による対話を通じて、講演内容を振り返り、自身の思考を深める。 ・振り返りシートへの記入を通じて、個人で振り返る。	・なぜ探究的な学びを行うのか自分なりに考えている。振り返りシートによる評価。	1 2
三学期	3月	・「私は地域と連携しながら防災活動にどのように関わるのか？②」	・日野消防署による上級救命講習を通じて、実際に災害が生じた際に活用できる知識とスキルを身につけ、自分自身が防災活動にどうかかわるのか考えを深める。	・地域と連携しながら自分が防災活動にどのように関わるのか考えを深めている。振り返りシートによる評価。	7
		・「探究課題を発見する（ウォーミングアップ・プログラム）」	・日本科学未来館が作成する「探究学習プログラム」（6 時間相当）を利用して、自身の興味・関心に沿った課題を発見するプロセスを体験的に考える。	・自身の興味関心に沿った課題を発見している。ワークシートによる評価。	8
		・「私はどのような学びに興味関心があるのか？」	・個人またはグループで実際に大学を訪問して、大学における研究領域とつなげて自分がどのような学びに興味があるのか考えを深める。	・大学の研究領域とつなげて自分自身がどのような学びに興味関心があるのかについて考えを深めている。(振り返りシートによる評価)	4
時間数の合計					35 (体験 14)

東京都立 南平 高等学校 全日制 課程 普通 科
令和8年度「総合的な探究の時間」の年間指導計画

(2 学年)

1 単位時間の時間 (50) 分

学期	月	指 導 項 目	指 導 内 容	評 価 計 画	配 当 時 間	
一 学 期	7 月	・ 年間プログラムの共有	・ 目的、方法、1 年間の流れを教員が説明する。	・ 目的・方法・流れを理解できている。振り返りシートによる評価	1	
		・ 課題の発見	・ ワークショップを通じて、自分自身が探究したい課題を見つける。 ・ 探究したい課題が共通する者でチームをつくり、または個人で夏季休業期間中の行動計画を作成する。	・ 自分自身が探究したい課題を見つけられている。ワークシートによる評価 ・ 行動計画を作成できている。ワークシートによる評価	2 4	
		・ 行動計画の作成				
夏 季 休 業 期 間	7 ・ 8 月	・ 行動計画を検証・実践する体験的活動。	・ チーム又は個人で、行動計画表に基づいて、体験的な活動を行い、各個人で報告書を作成する。	・ 行動計画表に基づいて体験的な活動を行っている。報告書による評価。	4	
二 学 期	1 0 月	・ 地域課題研究①課題の発見と行動計画の策定 ・ 地域課題研究②現地調査 ・ 振り返り	・ チームで課題を設定し行動計画を策定する。 ・ 修学旅行先(関西方面)で行動計画に基づいて、チーム又は個人で課題の検証実践活動を行い、個人で報告書を作成する。 ・ 地域課題研究を振り返り、まとめのデジタルポスターを作成する。	・ 課題を設定して、課題をふまえた行動計画を作成できている。ワークシートによる評価。 ・ 行動計画に基づいて検証実践活動ができている。報告書による評価。 ・ 振り返りができ、デジタルポスターを作成できている。ポスターによる評価。	2 6 2	
	1 2 月	・ ポスター作成 ・ クラス内ポスター発表 ・ 学年全体発表 ・ 探究論文作成①	・ チーム、または個人で夏季休業期間中の探究活動をまとめたデジタルポスターを作成する。 ・ 各クラス内で、チーム又は個人がプロジェクターでポスターを発表する。 ・ 体育館で、各クラスから推薦されたチーム又は個人がプロジェクターでポスターを発表する。 ・ 教員が探究論文の作成について説明する。	・ デジタルポスターを作成できている。ポスターによる評価。 ・ ポスターの発表ができている。発表及び相互評価シートによる評価。 ・ 発表及び相互評価シートによる評価。	4 3 2 1	
	三 学 期	3 月	・ 探究論文提出	・ 探究論文を提出する。	・ 探究論文が提出されている。論文による評価。	
			・ 年間振り返り	・ 「哲学対話」により、対話を通じて年間の探究活動を振り返る。	・ 振り返りができている。振り返りシートによる評価	2
・ 探究としてのキャリアデザイン			・ 講演＋ワークショップ「探究としてのキャリアデザイン 10 年後の仕事と暮らしを想像する。」	・ 10 年後の仕事と暮らしを自分なりに想像できている。振り返りシートによる評価。	2	
配 当 時 間 数 の 合 計					35	

東京都立 南平 高等学校 全日制 課程 普通 科
令和8年度「総合的な探究の時間」の年間指導計画

(3学年)

1 単位時間の時間 (50) 分

学期	月	指導項目	指導内容	評価計画	配当時間
一 学 期	4	ガイダンス	○キャリア教育を実施する ・生徒の興味・関心に基づき、適切な進路課題を設定させる。	次の観点に基づき、評価する。	4
	5	学習活動 調査・研究	・それぞれの進路課題に基づき、職業・上級学校・学部・学科・学問分野についての調査研究を行う。方法としては、学校図書館やインターネットの活用、フィールドワーク、自己表現の工夫など、多様な方法で取り組む。長期休業中や放課後を利用した活動が出来るように工夫する。	(1) 適切な課題を設定している。自ら学び、主体的に課題を解決する資質や能力が高まっている。	4
	6			(2) 長期休業中や放課後に積極的に調査・研究ができています。	4
	7	自己評価 発表	・長期休業に向け、これまでの活動の自己評価を行いながら、ポスターセッションなどの発表を行う。1学期を振り返り、まとめる。	(3) 学習活動に意欲的に取り組み、自己の在り方、生き方を考える素質が養われている。 (4) 自主的な学習により、学習成果が上がっている。	4
二 学 期	9	学習活動 調査・研究	・長期休業中に自身の活動で得た成果を確認し、進路課題設定を行い、職業や上級学校・学部・学科・学問分野についての調査研究を引き続き行う。	(5) 1年間の成果をまとめることができています。	4
	10	学習活動 調査・研究	・5月6月と同様に学習を継続する。	毎回のレポート作成や観察、自己評価や相互評価により、生徒にどのような力が付いたか上記の観点から評価する。	4
	11				4
	12	自己評価 中間発表	・学習活動が出来たかを、評価計画に基づき自己評価しながら、卒業に向けて総まとめの準備に入る。高校での教育活動の意味及び自己の将来への関連性を理解する。		3
三 学 期	1	学習活動 まとめ 発表	・自己の具体的な進路と結びついたかどうか、成果を確認しまとめ、発表する。		3
	2				1
	3				
配当時間 数の合計					35